

松方幸次郎とその時代

波濤の編

(31)

「まだ来るひでんはほど
近い。しばらく歩くと、左手
にマーケットビルディング
と明記された共同の事務所ヒ
ルが目に入った。全部で三十
四社が入る)のビルの中に指
する会社の名前があった。

「SCANDINAVIA」

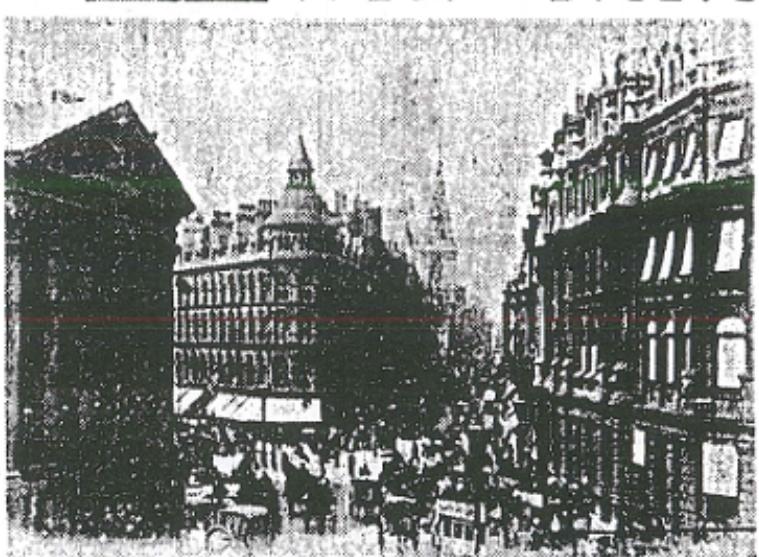
盟友錦木商店の営む錦木
商店ロンドン支店である。こ
の時錦木商店は、金子の積荷
を運ぶ下、海外二十三都市に
支店を構えていたが、ロンドン
はシティへ足を向けた。

トロードロンドンのホテ
ルに旅券を解いた松方幸次郎
は、シティへ足を向けていた。
シティは、世界の金融、保
険、海運の大本山である。各
国の銀行や企業が、このほか
一帯(約一・六〇)四方の区
域にオフィスを出し、商品や
情報を取引した。第一次大戦

在境にニューヨーク・ウォー
ル街の存在が急激にクローズ
アップされるが、幸次郎が訪
れたこの時期はまだ、シティ
が世界経済を牛耳り、政情
勢をも動かす



高 煙 譲 一



当時のシティの中心部。この
街が世界経済を左右した
る高煙謙一である。

高煙は、神戸高商(現神戸
大)卒業しており、幸次郎
の名は以前から耳にはして
いた。しかし、面と向かって
話をするのは初めてだった。

幸次郎はソファに深々と座
る。金子がこの年、幸次郎
の意見を聴いて横濱造船所
(現川崎造船)を買取り造船
業に進出したことを話題に
上らせた。

「金子さんは強気じやね。
おいも同様に強気で船をつくる
つける。そこで一度ヨーロッ
パの船を見たいと思って来
たんじゃが、どうじや」

(教説略)

火輪の海

題字は
故松本義治氏

パワーや持つ
ていた。

松方幸次郎と対面

シティで高畠と対面

世界で最も早く地鉄の走った都市でもある日本がまた月末の動定期にあつたころに開通したロンドンの地下鉄は、この半九表示された横道に入つた。こ

幸次郎は、イングランド銀行の前からロードの横を通じて海外金山の双べきを成して、も過そん色のない陣営をいた。大正十二年には、駐在時つて、單身でロンドン入りした幸

次郎にとって、高畠はこの
頼みの綱はこの
錦木商店である。ぶりと承
務所に入る。

松方コレクション展
11月26日(日)まで神戸市立博物館で開催中。月曜と
11月7日(火)は休館。ド
ガ、ビカソなど内外の名画
約百五十点を展覧。入場料
一般二〇〇円、高校生六〇
円、小中生四〇円(团体
割引あり)